

講義科目名称： 芸術活動をととした多様性協働プロジェクト 授業コード： 63000020

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期集中	1・2・3・4	2	選択
担当教員			
中原和樹			
区分	科目番号	曜日・時限	
添付ファイル			

対象学生	全学部、山梨大学生、科目等履修生（社会人・高校生等）、特別聴講生（大学コンソーシアムやまなし等）
授業の目的	演劇作品の創作を通して自身の価値観や他人の価値観と触れあい、対話し交流をし、それぞれの考えを深め、自分自身の内側から生まれる表現を体験することを目指しながら、その体験を通じ、自己の内省と他者への自己開示、そして他者と協働するということ、身体的感覚として学ぶ。 その為に、思考のみに留まるような表層的な理解だけではなく、自分自身の「腑に落ちる」ような身体的な納得、そして物事を他人事ではなく自分事として捉えるアプローチが必要となる。自分自身を知り、相手も知ること、自分を大事にしなが相手も大事にするという道を目指す足がかりを得ることになり、その結果として自身の観点を広げ、鋭く成長させる。 （2年生以上の学士基盤力）自然・社会・文化理解、想像力・表現力、実践力・問題解決力、人間関係形成力、自己学修力、地域・国際コミットメント力
学士力A	技法力
学士力A（ウェイト）	○
学士力B	実践力
学士力B（ウェイト）	◎
学士力C	倫理・シティズンシップ力
学士力C（ウェイト）	○
学士力D	
学士力D（ウェイト）	
学士力E	
学士力E（ウェイト）	
学士力F	
学士力F（ウェイト）	
学士力G	
学士力G（ウェイト）	
学士力H	
学士力H（ウェイト）	
到達目標No.1	自身の考えを持ち、開示し、その上で他者の考えを受け入れることで、創造的な対話を行うことができる。
到達目標No.1（学士力対応）	実践力
到達目標No.2	自分自身を主観的・客観的の両面で捉えることが出来、自己についての発見を行うことで、自身の価値観を広げ、世界と社会への新たな見方を身につけることができる。
到達目標No.2（学士力対応）	技法力
到達目標No.3	「文化とは何か」という根源的な問いへの興味が生まれ、そこから共生・多様性への理解、関心が広がる。
到達目標No.3（学士力対応）	倫理・シティズンシップ力
到達目標No.4	演劇創作体験を通じて人間そのものへの考えが深まり、より多角的に人間を捉え、表層的ではないコミュニケーションへの認識を強くする。
到達目標No.4（学士力対応）	実践力

到達目標No. 5			
到達目標No. 5 (学 士力対応)			
成績評価の方法	評価の方法	割合 (%)	評価の基準
	目標No. 1	30%	授業内での関わり方・積極性 (15%) と全15回終了時の自由記述 (15%) により評価する。
	目標No. 2	30%	授業内での関わり方・積極性 (15%) と全15回終了時の自由記述 (15%) により評価する。
	目標No. 3	20%	授業内での関わり方・積極性 (10%) と全15回終了時の自由記述 (10%) により評価する。
	目標No. 4	20%	授業内での関わり方・積極性 (10%) と全15回終了時の自由記述 (10%) により評価する。
授業の方法	<p>アクティブ・ラーニングを取り入れ、全て実践・実習形式で行い、学生主体によるディスカッション・対話をもとに進めていく。</p> <p>また、山梨県立県民文化ホールで講義を行うなど、教室の外に出て身体的に物事を体験出来るような機会を設ける。</p> <p>学生の希望により、脚本執筆、演出業務、裏方業務など (音響照明、大道具小道具、ヘアメイクほか) を学生が体験する機会を設けるほか、南アルプス市にあるブラジル人学校「アルプス学園」の生徒とも協働をすることで、学生それぞれが多様な関わり方のもと、一つの作品創りに積極的に関わってもらおう。</p> <p>最終回に、観客の前で演劇発表を行う。</p>		
受講に際して・学生へのメッセージ	<p>ますます複雑化していく社会において、他者と深く対話し、道筋を切り開く創造性は必須の力となっていくきます。</p> <p>指示通りに演じることが重要なことではなく、うまく演じることも同じく重要ではありません。</p> <p>演じるということは、自己と他者を知ることです。</p> <p>他者と関わり、交流し、繋がり、分かち合うこと。感性を開き、飛び込むこと。</p> <p>これらを楽しみながら、多様なメンバーで旅に出ましょう。きっと途中にも、そして最後にも素敵な景色が見られると思います。</p>		
教科書	テキスト	なし	
	参考書	なし	
授業計画の概要	1		
	タイトル	(11/1金) オリエンテーション / ワークショップ①【他者と場を知り、遊び心を見つけてみる】	
	授業内容	オリエンテーション・チームビルディング・ワークショップ	
	事前学習		
	事後学習	第2回に同じ	
	2		
	タイトル	(11/1金) ワークショップ②【演じるとは?表現とは?対話とは?】	
	授業内容	ワークショップ	
	事前学習		
	事後学習	次回までに創作を進めるべきプロセスと課題を渡すので、それをクリアした状態で各回に臨むこと。	
	3		
	タイトル	(11/15金) 冒険①【作品創作のためのスケッチ・リサーチ】	
	授業内容	ワークショップ	
	事前学習		
	事後学習	第4回に同じ	
	4		
	タイトル	(11/15金) 冒険②【作品創作のためのスケッチ・リサーチ】	
	授業内容	ワークショップ	
	事前学習		
	事後学習	次回までに創作を進めるべきプロセスと課題を渡すので、それをクリアした状態で各回に臨むこと。 脚本執筆の希望者を募集します。	
5			
タイトル	(12/6金) 演劇稽古/ディスカッション①【スケッチ・リサーチを物語の断片化する】		
授業内容	ワークショップ		
事前学習			
事後学習	第6回に同じ		

6	
タイトル	(12/6金) 演劇稽古/ディスカッション②【物語の断片に各々の文化的背景を染み込ませる】
授業内容	ワークショップ
事前学習	
事後学習	次回までに創作を進めるべきプロセスと課題を渡すので、それをクリアした状態で各回に臨むこと。 これまでの創作をテキスト化する課題を渡すので、指示に従って提出すること。
7	
タイトル	(12/13金) 演劇稽古③【テキスト化した物語の体験】
授業内容	演劇稽古
事前学習	
事後学習	第8回に同じ
8	
タイトル	(12/13金) 演劇稽古④【身体と自由な発想でシーンを組み立てていく】
授業内容	演劇稽古
事前学習	
事後学習	次回までに創作を進めるべきプロセスと課題を渡すので、それをクリアした状態で各回に臨むこと。
9	
タイトル	(12/27金) 演劇稽古⑤【オリジナルアイディアの持ち寄りを作品に入れ込む】
授業内容	演劇稽古
事前学習	
事後学習	第10回に同じ
10	
タイトル	(12/27金) 演劇稽古⑥【作品を通して物語を創出させる】
授業内容	演劇稽古/通し稽古
事前学習	
事後学習	次回までに創作を進めるべきプロセスと課題を渡すので、それをクリアした状態で各回に臨むこと。
11	
タイトル	(1/10金) 演劇稽古⑦【作品を自分たちの作品として捉えていく】
授業内容	演劇稽古
事前学習	
事後学習	第12回に同じ
12	
タイトル	(1/10金) 最終通し稽古とブラッシュアップ
授業内容	最終通し稽古
事前学習	
事後学習	次回までに創作を進めるべきプロセスと課題を渡すので、それをクリアした状態で各回に臨むこと。
13	
タイトル	(1/11土) 演劇発表/本番に向けた準備・リハーサル
授業内容	準備、リハーサル/演劇稽古
事前学習	本番に向けた準備
事後学習	
14	
タイトル	(1/11土) 演劇発表/本番
授業内容	演劇発表
事前学習	本番に向けた準備
事後学習	
15	

	タイトル	(1/11土) まとめ、総括
	授業内容	演劇発表 気づき・発見となった事柄を自由記述で発表してもらう。
	事前学習	本番に向けた準備
	事後学習	
実務経験のある教員による授業科目の概要	<p>教員の実務：演出家・脚本家（演出者協会会員、山梨県立県民文化ホールアーティストックアドバイザー） 教育方法：実際的なワークショップのファシリテートと、演劇の稽古の開催。演劇の創作過程において各参加者が自主的に関われる場作りと促しを行う。 演劇的・芸術的な観点で作品が創作されるために、学生と協働し、向かう方向性を具体化していく。</p>	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は、次の時間帯と場所で実施する。 11/1～12/27 16：30～19：40 山梨県立大学飯田キャンパス 1/10 16：30～19：40 山梨県立大学飯田キャンパス 1/11 13：10～18：00 山梨県立大学飯田キャンパス ・身体を動かすことも多いため、動きやすい服装で受講すること。 ・他大学の学生や社会人等とともに学ぶ「PENTAS YAMANASHI」の科目です。 	